

財務省行政事業レビュー（外部有識者会合）議事概要

1 日 時：令和6年6月18日（火）10：00～12：00

2 場 所：財務省第1会議室

3 出席者

財務省選任外部有識者（敬称略、五十音順）

尾花 真理子（弁護士：モリソン・フォースター法律事務所）

梶川 融（公認会計士：太陽有限責任監査法人会長）

持永 勇一（教授：早稲田大学大学院会計研究科）

財務省

目黒 政策立案総括審議官、堀田 大臣官房審議官、

石黒 大臣官房会計課調整室長、久保田 大臣官房会計課会計調査官、

小平 国税庁長官官房会計課長、山本 国税庁長官官房総務課広報広聴室長、

山川 理財局国庫課長、上田 財務総合政策研究所総務研究部長、

阪井 文書課広報室長ほか

4 議事次第

(1) 開会

(2) 外部有識者会合による対象事業の点検

【点検対象事業】

- ① 国税庁の広報活動経費
- ② 通貨に関する調査・研究
- ③ 財政経済計量分析委託
- ④ 広報活動の改善を目的とした各種調査

(3) 閉会

〔議事概要〕

○ 点検対象事業について、各担当課長等から事業概要説明

○ 外部有識者による点検（質疑・議論）

○ 外部有識者からのコメント及び外部有識者の所見

外部有識者からのコメントを踏まえ、「外部有識者の所見」として以下のとおり、とりまとめた。

① 国税庁の広報活動経費

外部有識者からのコメント

- ・ 情報提供事業については人口動態調査の結果（死亡数の増大）次第で、相続税についての情報提供をしてもよいのではないかと考える。
- ・ 情報提供事業についての各指標の設定は適切であると考えます。
- ・ 租税教育事業が、文部科学省及び総務省と協力して進められていることは望ま

い。

- ・ 数量的なアウトカムの設定により教育の質が損なわれることを懸念され、設定を躊躇されているようであるが、1.2 億円が費やされている大きな事業であることから、指標達成の見える化の必要性も高いと思われる。従って、短期アウトカムについては、国税庁 HP の PV 数、税の作文等の数量的なアウトカム目標も検討してもよいのではないかと考える。
- ・ 租税教育についての国税庁の HP の内容は生徒の学習段階に応じたわかりやすい内容となっている。学習方法として、HP、税の作文、租税教室という複数の方法が提案されており、租税教育の環境整備が適切になされていると考える。
- ・ アウトカムに関する各指標はロジックモデルに沿って適切なものとして設定されている。
- ・ 納税意識向上に資する効果的な租税教育について検討されていると考える。
- ・ 長期アウトカムが定性的であることはやむを得ない。
- ・ 確定申告に関する情報提供に関しては、短期的アウトカムとして広報活動の認知度にはじまり、長期的なアウトカムとして、e-Tax を利用した申告割合の増加を設定しており、デジタルツールを利用した申告・納税手続きの推進を課題とすることと適切に合致していると考えられる。
- ・ 租税教育の実施を通じた納税意識の啓発に関しては、EBPM における長期的なアウトカムの設定は困難であると考えられるが、設定した短期的・中期的なアウトカムを継続的に向上させる取り組みにより、結果として長期的なスパンでの納税意識の啓発に繋がることを期待する。

外部有識者の所見

情報提供事業及び租税教育事業ともに、アウトカムに関する各指標は適切に設定されていると認められる。

租税教育事業については、文部科学省及び総務省と協力して進められており、設定した短期的・中期的なアウトカムを継続的に向上させる取り組みにより、納税意識の向上に向けた効果的な啓発に繋がると考える。

② 通貨に関する調査・研究

外部有識者からのコメント

- ・ 調査事業であることから、長期アウトカムしか設定できないことはやむをえないと考える。
- ・ 調査結果は、省内及び省外で活用され、また、HP でも公開されて国民の知的資産として供されており、有効に活用されているものと考えられる。
- ・ 複数応札となっており、調達手続きも適切に行われているものと考えられる。
- ・ CBDC に関する調査については、調査結果は有効に活用されているが、アウトカムについて制度設計の論点整理に資するよう、具体的な検討課題を明確にし、複数段階での指標設定も検討できるのではないかと考える。
- ・ 通貨に関する実態調査にかかる費用であるため、複数段階でアウトカム目標を設定

定することが困難であることは理解した。

- ・ デジタル経済が予想以上に速く・広く進展するなかで、CBDC等の新たな信用インフラストラクチャーは、将来の国民生活に大きな影響を及ぼすと考えられることから、理財局がリードして必要な予算を獲得して、調査・検討を積極的に実施すべきであると考ええる。
- ・ 一般競争入札（最低落札価格）による調達を実施し、応札者も複数あること、また、調査項目・方法の見直し等の経費節減に関する工夫を継続して行っており、望ましい調達活動を行っていると思えられる。

外部有識者の所見

本事業の特性を踏まえると、アウトカムを複数段階で設定することは難しいということでは理解できるが、CBDCに関する調査については、将来的には制度設計の大枠の整理に資するような指標設定とすることも検討できるのではないかと考える。

調査結果については、財務省HPでも公開されるなど国民の知的資産として供されており、省内外で有効に活用されているものと考ええる。

③ 財政経済計量分析委託

外部有識者からのコメント

- ・ 高度な研究の委託事業であり、研究結果を政策に反映させることは性質的に困難と思われることから、長期的なアウトカムが定性的な目標となるのはやむをえないと考える。
- ・ 研究結果については、外部の教授等により合理的な金額での審査をうける手続きとなっており、高度な研究の適切な結果を確実に得られる工夫がされていることは望ましい。
- ・ 研究結果は、関係する部局と十分に共有されており、最大限に利用されているものと考ええる。研究結果は国民の知的資産にもなり得ることから、公表できる内容があれば、加工を加える等適切な方法で、公表も検討するのが望ましいと考える。
- ・ 財務省における施策の検討のための知見の蓄積を目的とするもので研究成果の定量的なアウトカム設定にはなじまないと思われる。
- ・ 職員のみでは実施できない高度な研究が行われていると思われる。よって一定の質的評価は行われていると考える。
- ・ 長期的な成果目標である「財務省における施策の検討や実施に当たっての有用な知見として活用」を掲げることから、必ずしも定量的な評価には適合せず、定性的なアウトカムの設定は妥当であると考えられる。
- ・ 財政経済の分析における外部委託によるマイクロ・シミュレーションの結果を研究会での報告で活用するほか、ディスカッション・ペーパー等の媒体で公表していることに加え、輸出入申告データの委託研究の成果について研修を行うなど、有効活用に努めていると思えられる。

外部有識者の所見

本事業の特性を踏まえると、必ずしも定量的なアウトカム設定はなじまず、定性的なアウトカムの設定は妥当であると考えます。

研究結果については、省内の関係部局に十分に共有されているほか、研究結果の一部を公表するなど、有効活用に努めていると認められる。研究結果は国民の知的財産にもなり得ることから、引き続き、公表できる内容があれば、加工を加える等適切な方法での公表について検討されたい。

④ 広報活動の改善を目的とした各種調査

外部有識者からのコメント

- ・ 広報活動の改善を目的とした各種調査の性質上、定性的なアウトカム目標しか設定できないことはやむをえないと考える。
- ・ 調査結果がメディア選択に有効に利用されており、広報活動の改善に向けて活用されていると考える。
- ・ 財務省の施策について国民一般の認識を調査する事業であり、特定事業としての成果を目的とされるものでなく定性的なアウトカムになることは妥当である。
- ・ 調査結果は広報活動の一定の改善に向けて活用できている。
- ・ 広報活動の改善を目的とした調査にかかる費用であるため、EBPMにおける直接的な効果の検証を可能とする適切な Evidence の設定は困難であることから、定性的なアウトカム目標の設定には合理性があると考えます。
- ・ 国民とのコミュニケーションを改善するための広報活動の改善を目的とした調査によって、国民の関心や利用状況等の「今」を財務省として適時に把握し、その結果をターゲット年齢層に合わせた「より発信力の高い」広報媒体への変更に繋げており、広報活動の改善に活用できていると認められる。
- ・ 一般競争入札（最低落札価格）による調達を実施し、応札者も複数あること、また、調査項目・方法の見直し等の経費節減に関する工夫を継続して行っており、望ましい調達活動を行っていると思われ。

外部有識者の所見

本事業の特性を踏まえると、定性的なアウトカムの設定は妥当であると考えます。

調査結果から、国民の関心やメディアの利用状況等を適時に把握し、より効果的な広報媒体への変更に繋げているなど、広報活動の改善に活用できていると認められる。

(以上)